

和歌山での生活

王 超（中国・交換留学生・三東師範大学）

和歌山に来て、そろそろ半年になります。この半年間にいろいろなことを体験して、この半年間のこと、心に深く残っています。

和歌山に到着したあの日のことをいつも思い出します。会館の前で、バイトへ行こうとしていたトウエイさんに会ったとか、IECの学生さんと一緒にパーティーをしたとか、当時のことを思い出すと、その様子がありありと目に浮かびます。今も、将来も忘れられない、いい思い出だと思います。

和歌山での生活の初めの頃で、感無量なのは、和歌山のボランティア組織です。たぶん、中国ではこのような組織が少ないからです。毎週、ボランティア先生は会館で授業して、親切に話をしてくれます。先生のおかげで、日本に対する理解は深くなっています。それから、WIN コンコードのボランティア先生も週末とか、休みとか、私たちを連れて遊びに行ってくれます。それから、生活への私たちの要求をいつも満足させてくれます。印象的なのは、夏の初めのある日、中谷先生と会った時、ふとこのような話をしました。“暑いなあ、扇風機がない。”私の話を聞いて、中谷先生はすぐ事務所に帰って、扇風機を持って戻りました。暑いところ、本当に心から感謝します。東京で勉強している私のクラスメートはいつも和歌山のボランティア組織のために、私を羨んでいます。和歌山の留学生たちは、幸せだと思います。



この半年を経て、和歌山あるいは和歌山の市民たちの生活を見て、印象的なのは、この生活は安寧秩序ということです。和歌山の市民たちは礼儀がいい、どの場合にもこのような感じがあります。街は、いつも静かで車のクラクションの音が全然聞こえません。本当に敬服しています。



それから、和歌山の自然環境は本当にいいです。空が青い、川は清らかで澄み切っています。他の国に留学するクラスメートはいつも私の写真を見て、“羨ましなあ、そんなに綺麗な環境に”というような話をしました。山は全部植物に覆われていて、緑の海というような感じがあります。いい感じですね。私は和歌山の自然環境が大好きです。

帰国する前、あと半年があります。ぜひこの半年をよく利用して、日本の生活を体験します。今後も、よろしくおな願いします。

2010年9月12日